



CellSource

2020年10月期 決算説明資料

セルソース株式会社

2020年12月

1

決算ハイライト

2

業績の状況

3

トピックス

創業以来4期連続の増収増益。販管費抑制等により純利益は前期比+37%

(百万円)	2019/10期(前期) (2018年11月-2019年10月)	2020/10期(当期) (2019年11月-2020年10月)	前期比	(参考) 2020/10期業績予想
売上高	1,611	1,855	+243 (+15%)	1,972
売上総利益	1,153	1,258	+105 (+9%)	-
販管費	826	843	+16 (+2%)	-
営業利益	326	415	+88 (+27%)	365
当期純利益	199	274	+74 (+37%)	234

提携医療機関数及び加工受託件数が着実に伸長。経営効率性の向上により営業利益率+2.1ポイント

	2019/10期(前期) (2018年11月-2019年10月)	2020/10期(当期) (2019年11月-2020年10月)	前期比
売上高営業利益率(%)	20.3	22.4	+2.1
脂肪由来幹細胞 加工受託件数(件)	806	925	+119
血液由来加工受託件数(件)	4,422	7,131	+2,709
期末提携医療機関数(院)	296	550	+254

提携医療機関数の増加と診療領域の拡大を受け各種再生医療関連サービスは堅調な成長を見込む

(百万円)	2020/10期(実績) (2019年11月-2020年10月)	2021/10期(予想) (2020年11月-2021年10月)	前期比
売上高	1,855	2,539	+37%
営業利益	415	573	+38%
経常利益	412	570	+38%
当期純利益	274	356	+30%

1

決算ハイライト

2

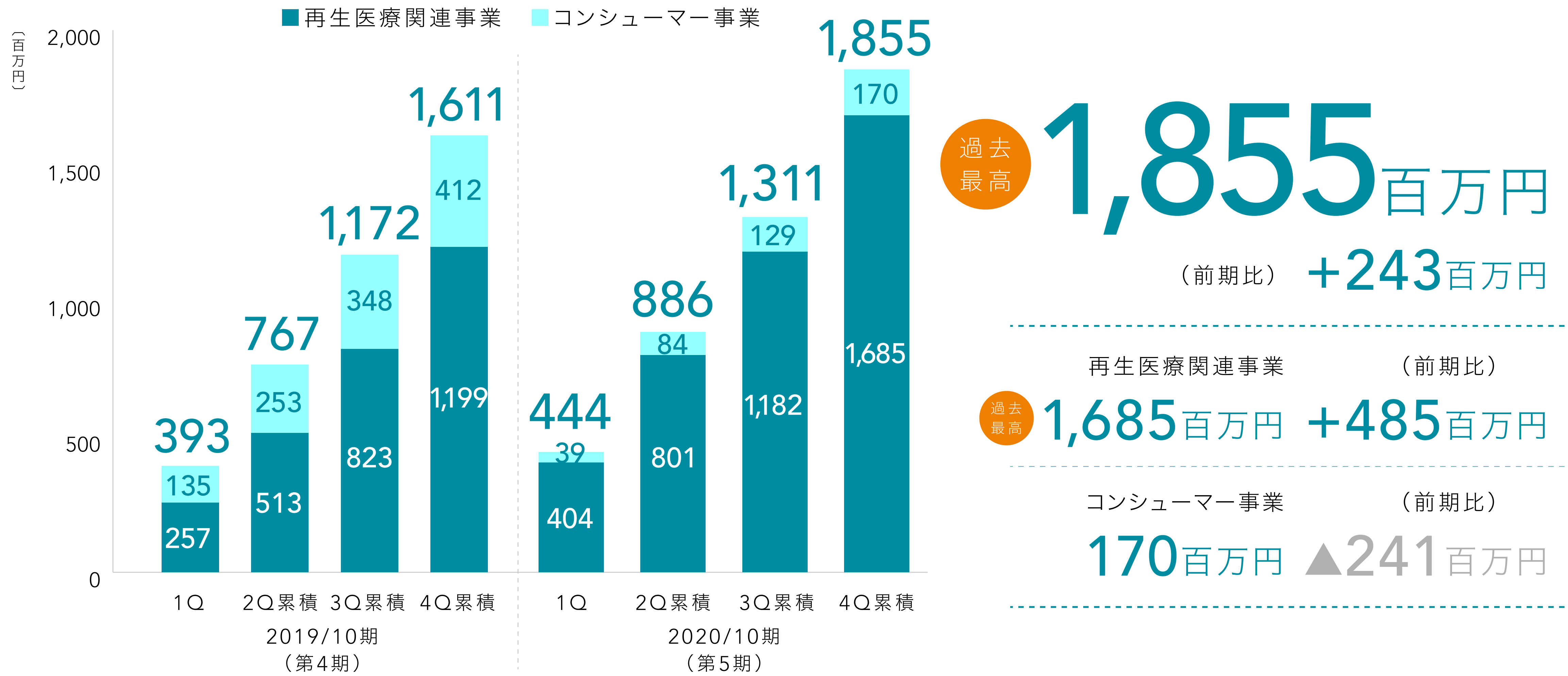
業績の状況

3

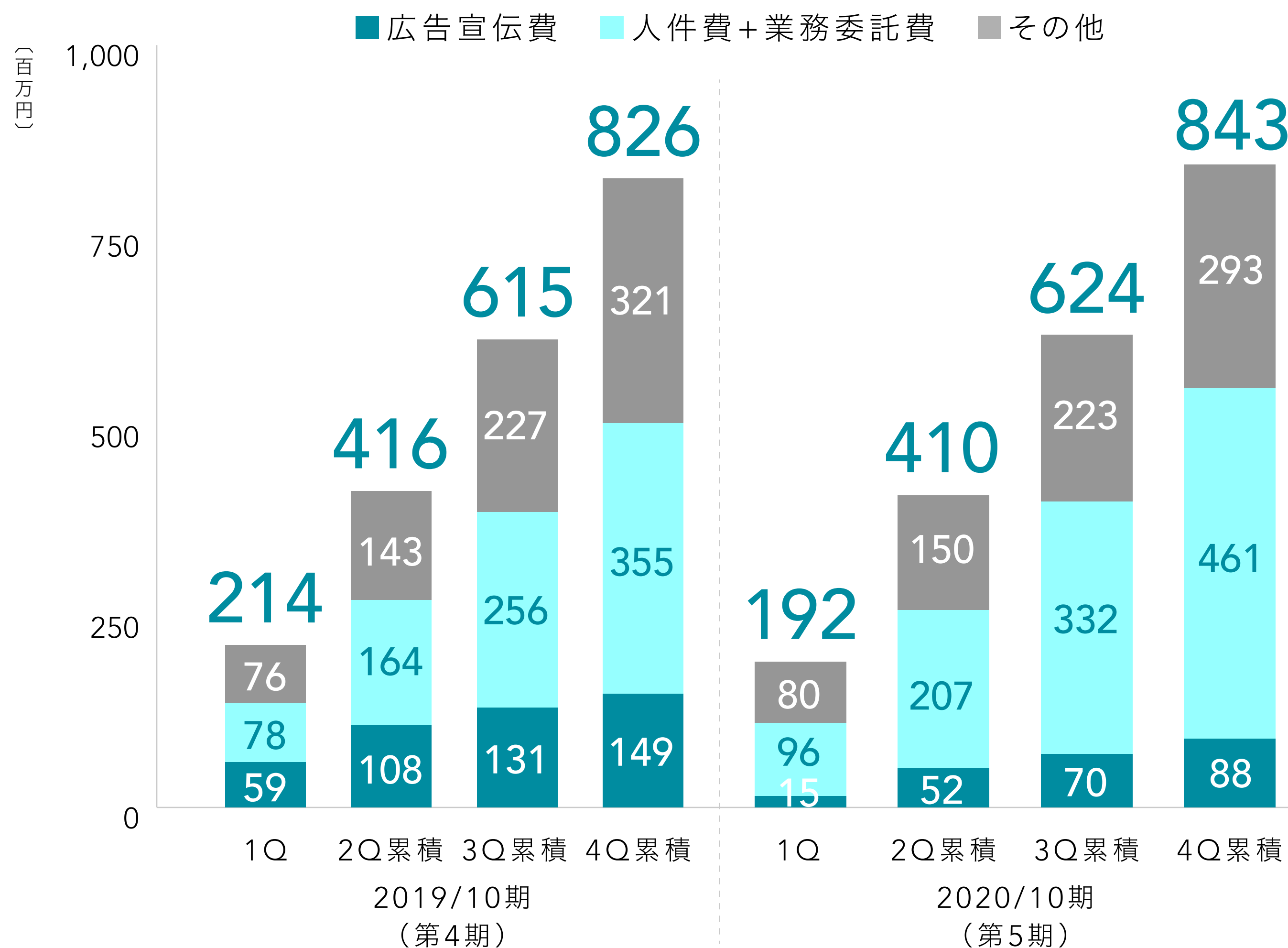
トピックス

- 創業以来4期連続の増収増益。売上は前期比+15%、純利益は前期比+37%
- 販管費抑制により売上高営業利益率は22.4%と前期から2.1ポイント改善
- 年間の脂肪由来加工受託件数は925件と前期から119件増加
- 年間の血液由来加工受託件数は7,131件と前期から2,709件増加
- 第4四半期の加工受託件数は2,529件と四半期 **過去最高**
10月は994件と月次 **過去最高** 更新
- 提携医療機関数は550院と前期から254院増加。
第4四半期の増加数は82院と四半期 **過去最高**
- 不妊治療領域での受託加工を開始。
当期の提携医療機関数は46院、加工受託件数100件と順調に拡大
- コンシューマー事業の売上は170百万円にとどまるも、第3・4四半期は黒字確保

加工受託件数が増加し、再生医療関連事業の売上高は年次・四半期ともに過去最高を記録



人件費等が増加も広告宣伝費等を削減、売上に比し販管費の増加幅を抑制



843

百万円

(前期比) **+16**百万円

広告宣伝費 (前期比)

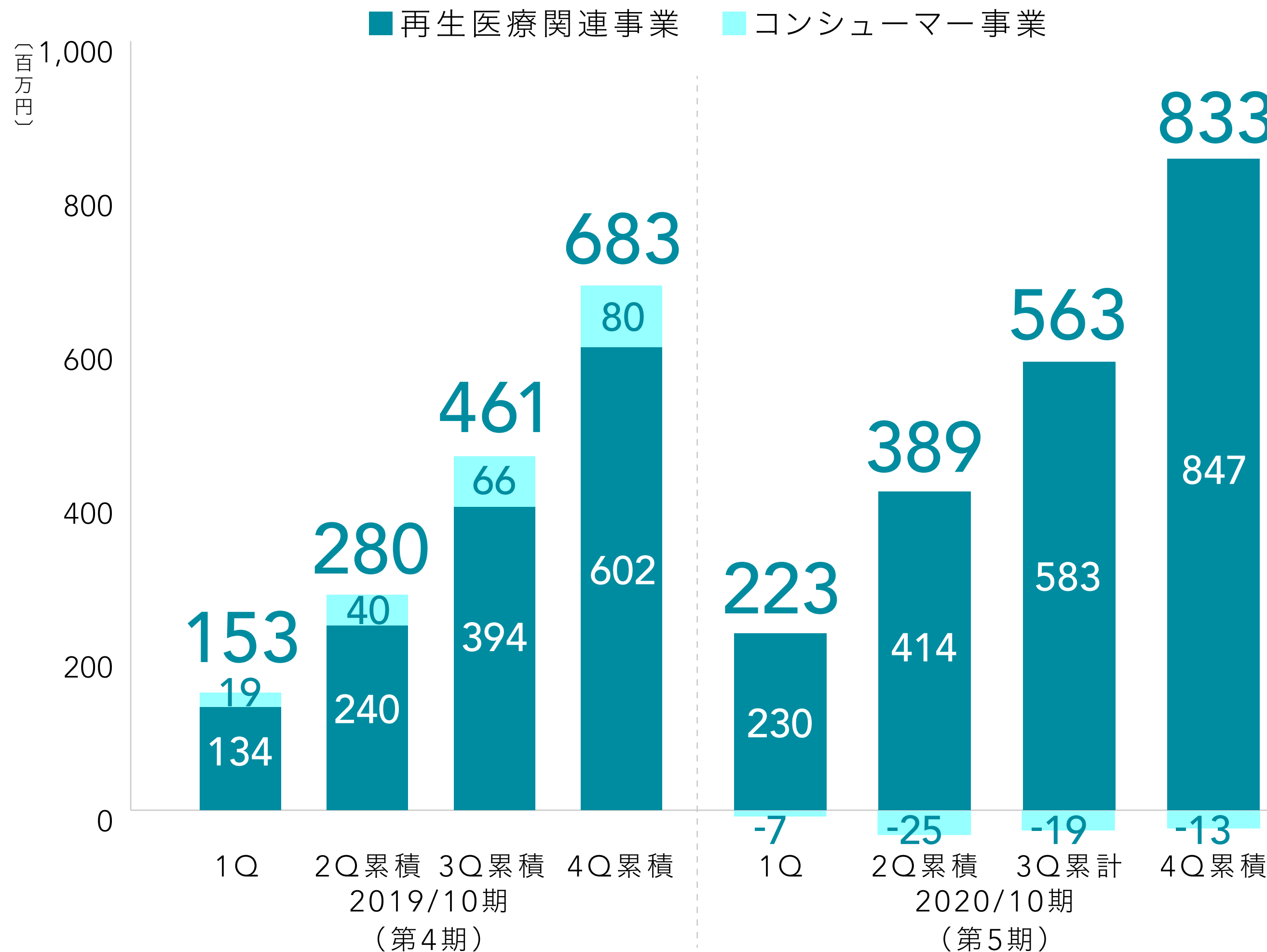
88百万円 ▲**61**百万円

人件費+業務委託費 (前期比)

461百万円 **+106**百万円

セグメント利益（全社費用を除く）

再生医療関連事業のセグメント利益は前期比+41%。コンシューマー事業の第3、4四半期は黒字確保



過去最高

833 百万円

※ 報告セグメントに含まれない全社費用418百万円調整後の営業利益は415百万円です。

(前期比) **+150** 百万円

再生医療関連事業 (前期比)

過去最高

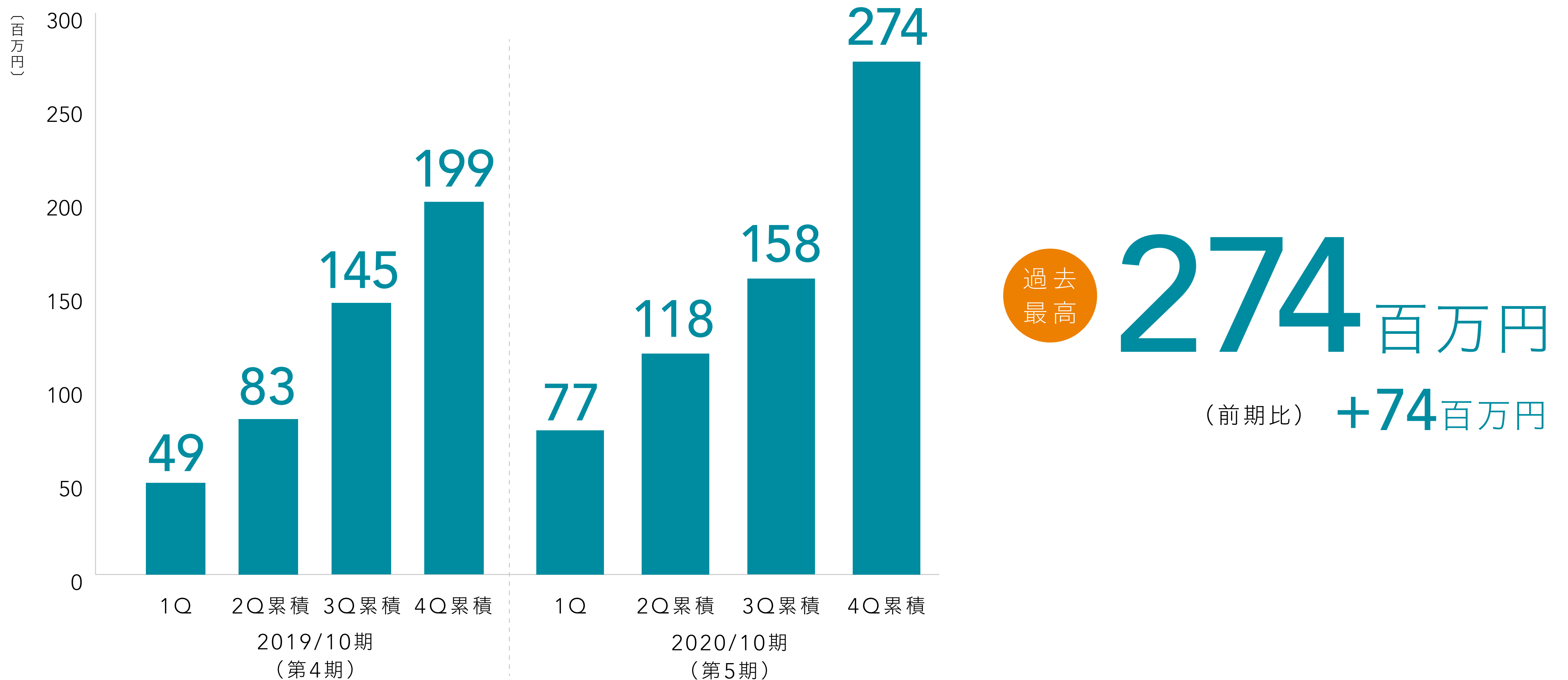
847 百万円 **+245** 百万円

コンシューマー事業 (前期比)

▲ **13** 百万円 ▲ **94** 百万円

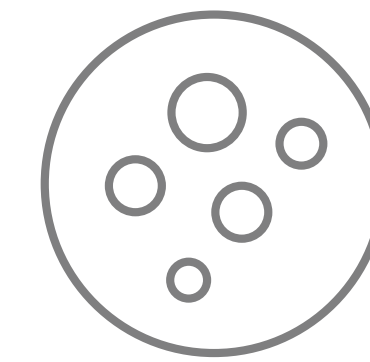
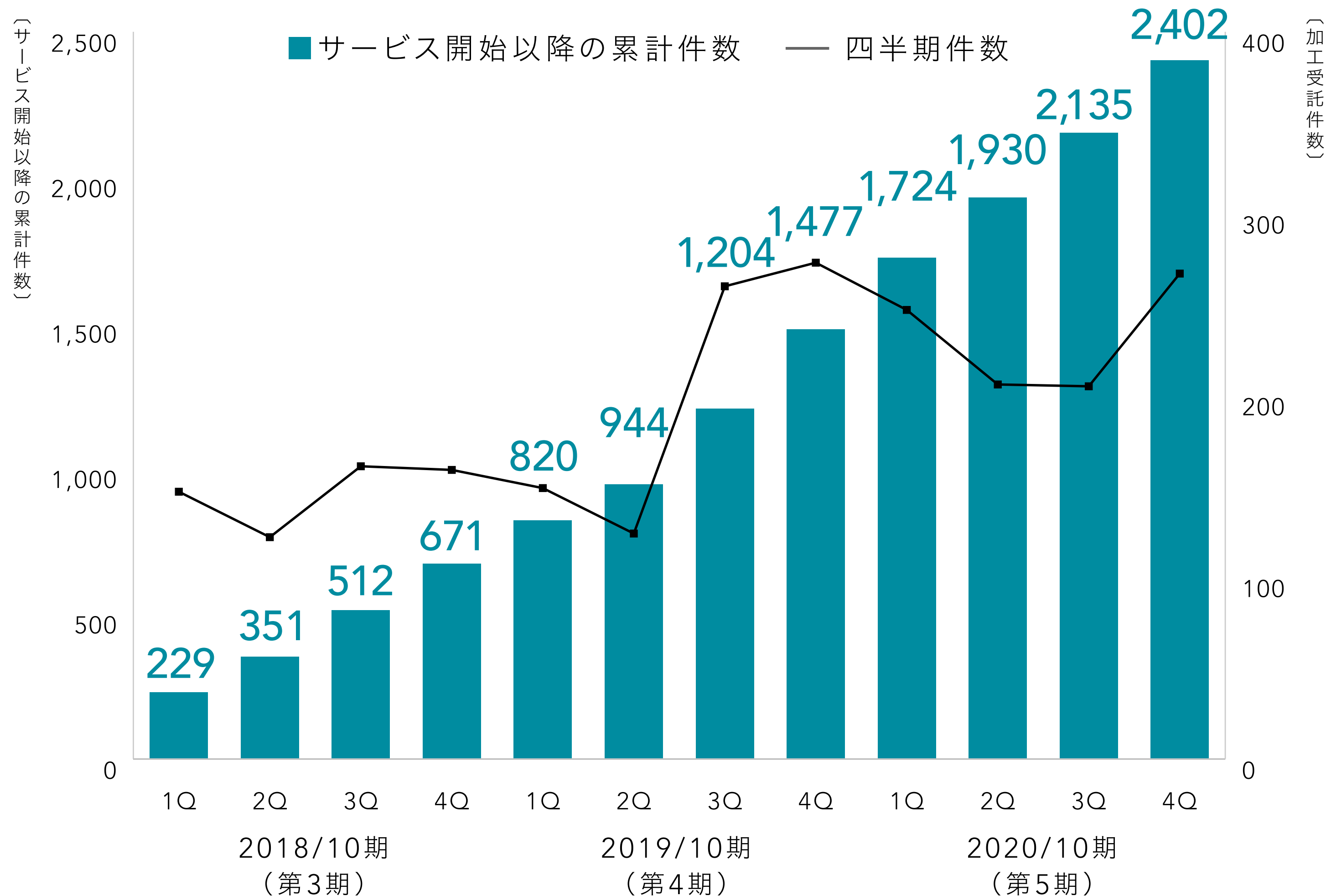
※ 各セグメントに含まれない全社費用を除く数値です。

増収及び営業利益率向上により、当期純利益は前期比+37%。第4四半期単独115百万円は四半期過去最高



新型コロナウイルス感染症の影響から回復

脂肪由来幹細胞加工受託件数(ASC)



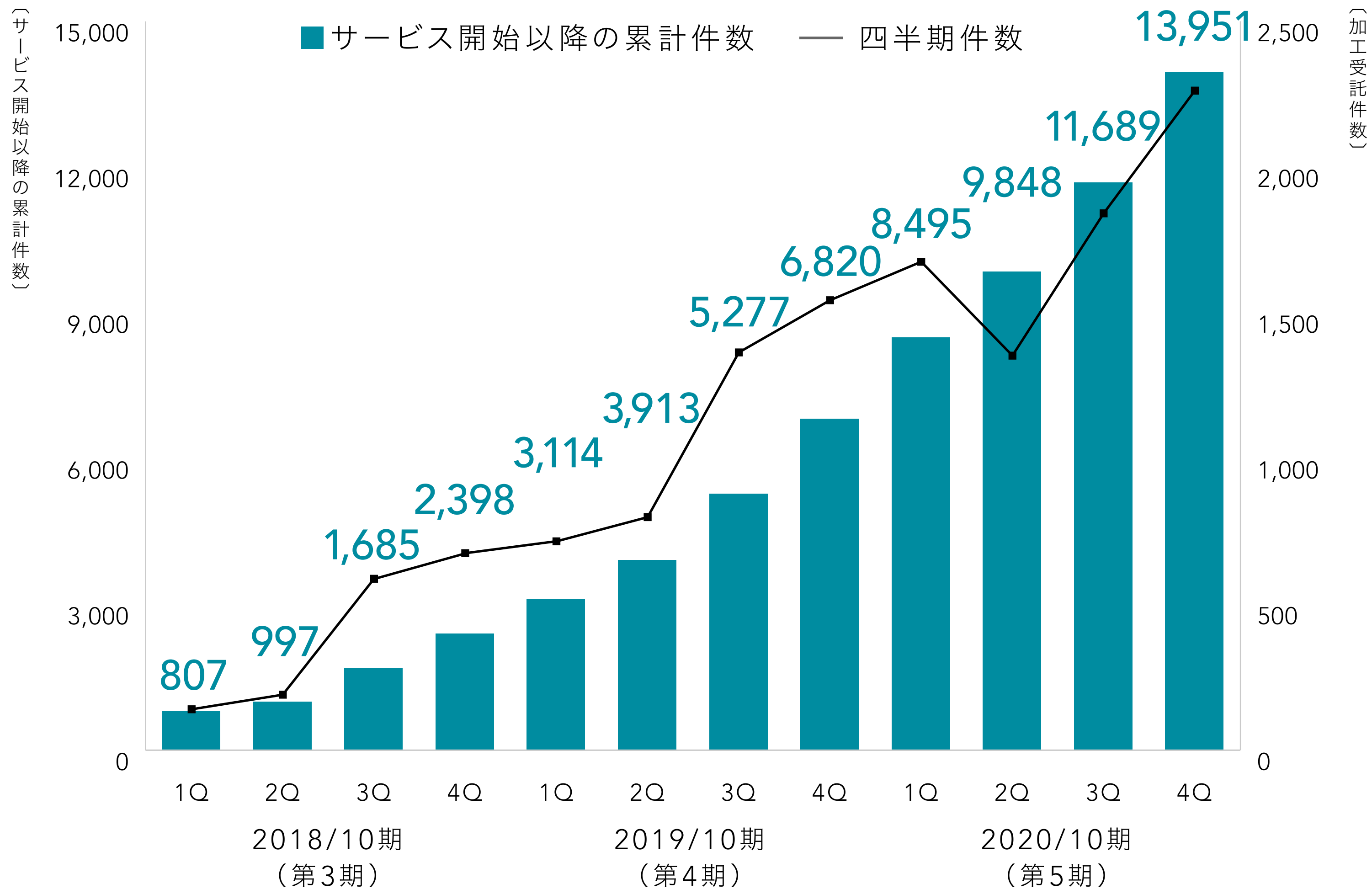
累計

2,402件

当期4Q 267件

四半期あたりの受託件数が2四半期連続で過去最高を更新

血液由来加工受託件数（PFC-FD）



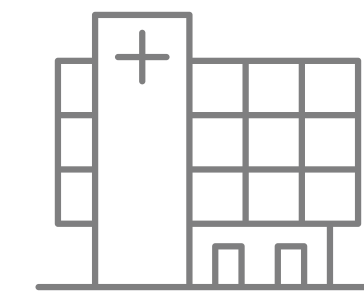
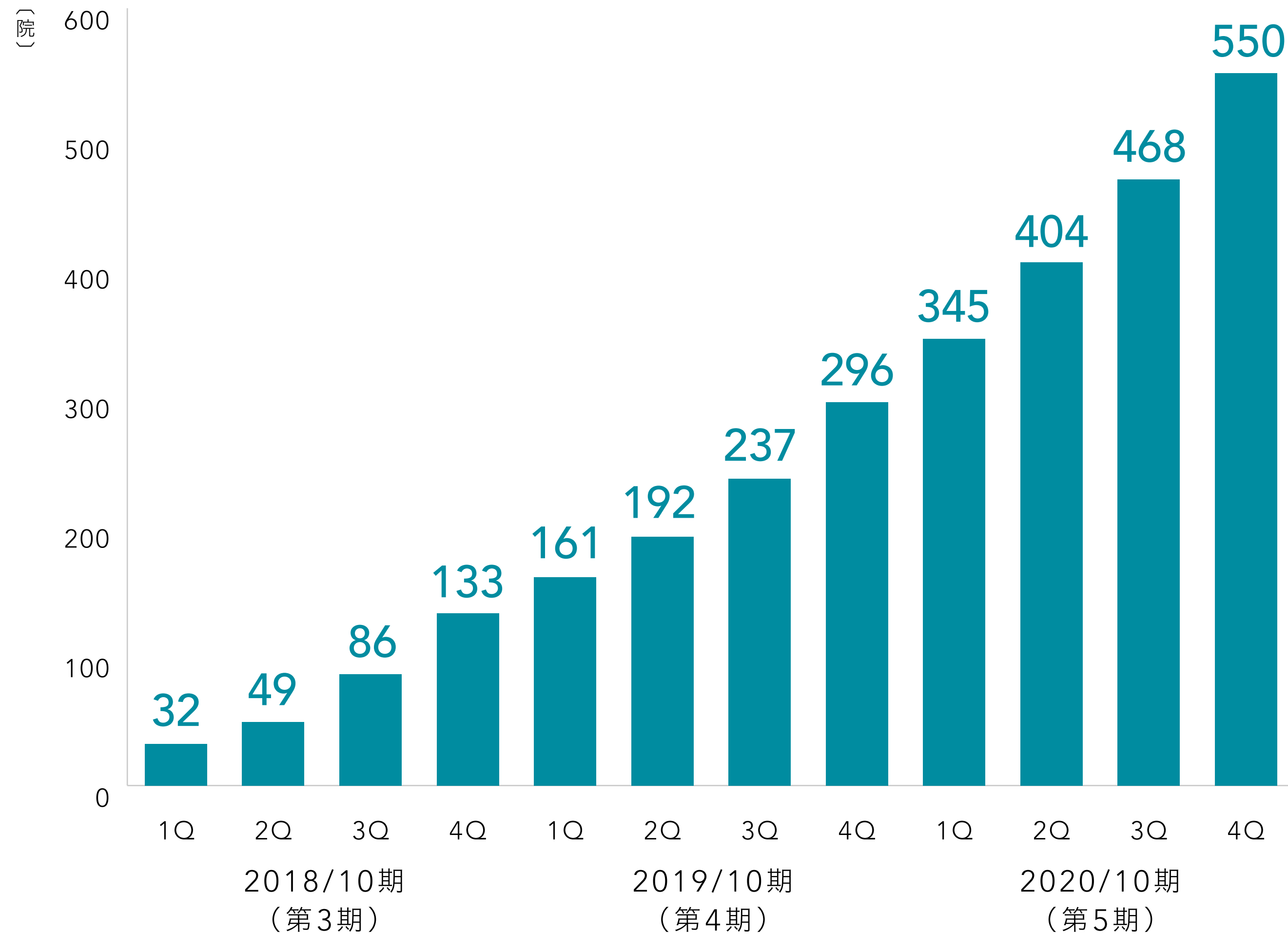
累計

13,951 件

当期4Q 過去最高 2,262 件

第4四半期の新規契約医療機関数は82院。2四半期連続で過去最高を更新

提携医療機関数



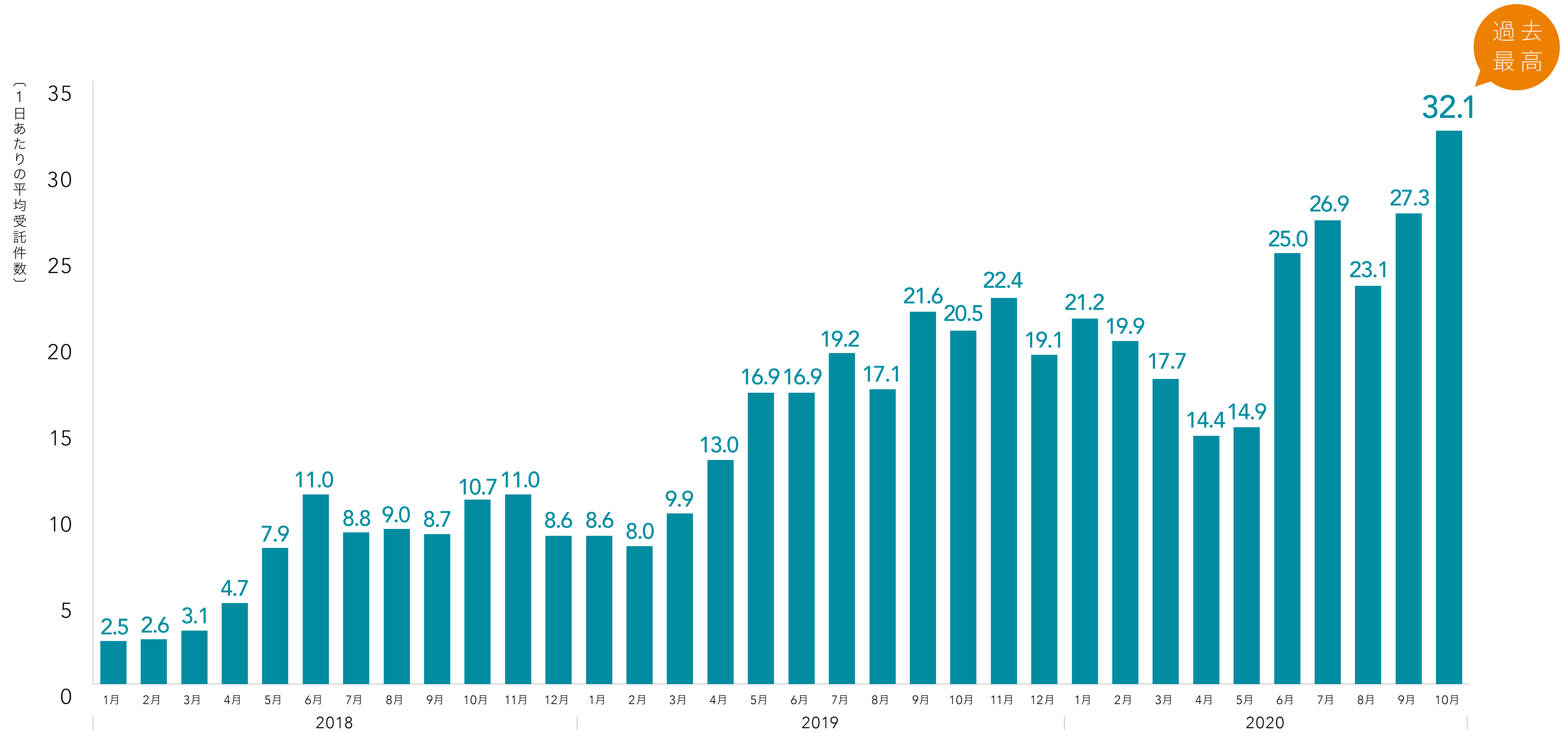
550 院

当期4Q  82院新規契約

(百万円)	2018年10月期				2019年10月期				2020年10月期				対前Q
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
売上	215	272	342	381	393	373	404	439	444	441	425	543	117
(再生医療関連事業)	144	183	207	241	257	256	309	376	404	397	381	502	121
(コンシューマー事業)	71	89	135	139	135	117	95	63	39	44	44	41	▲3
販管費	80	115	185	198	214	202	198	211	192	217	214	218	4
営業利益	64	79	57	100	76	52	99	99	124	63	64	162	97
(再生医療関連事業)	84	102	108	136	134	106	154	208	230	184	168	264	95
(コンシューマー事業)	11	11	▲0	37	19	20	26	14	▲7	▲18	5	5	0
(全社)	▲31	▲35	▲50	▲72	▲77	▲74	▲81	▲123	▲98	▲103	▲109	▲107	2
四半期純利益	41	53	36	67	49	34	62	53	77	40	39	115	75
加工受託件数(件)	287	312	849	872	865	923	1,624	1,816	1,922	1,559	2,046	2,529	483
(脂肪由来幹細胞加工受託件数(件))	147	122	161	159	149	124	260	273	247	206	205	267	62
(血液由来加工受託件数(件))	140	190	688	713	716	799	1,364	1,543	1,675	1,353	1,841	2,262	421
期末提携医療機関数(院)	32	49	86	133	161	192	237	296	345	404	468	550	82

1日あたりの平均加工受託件数の推移

新型コロナウイルスの影響による一時的な減少後は増加ペースが再加速



1

決算ハイライト

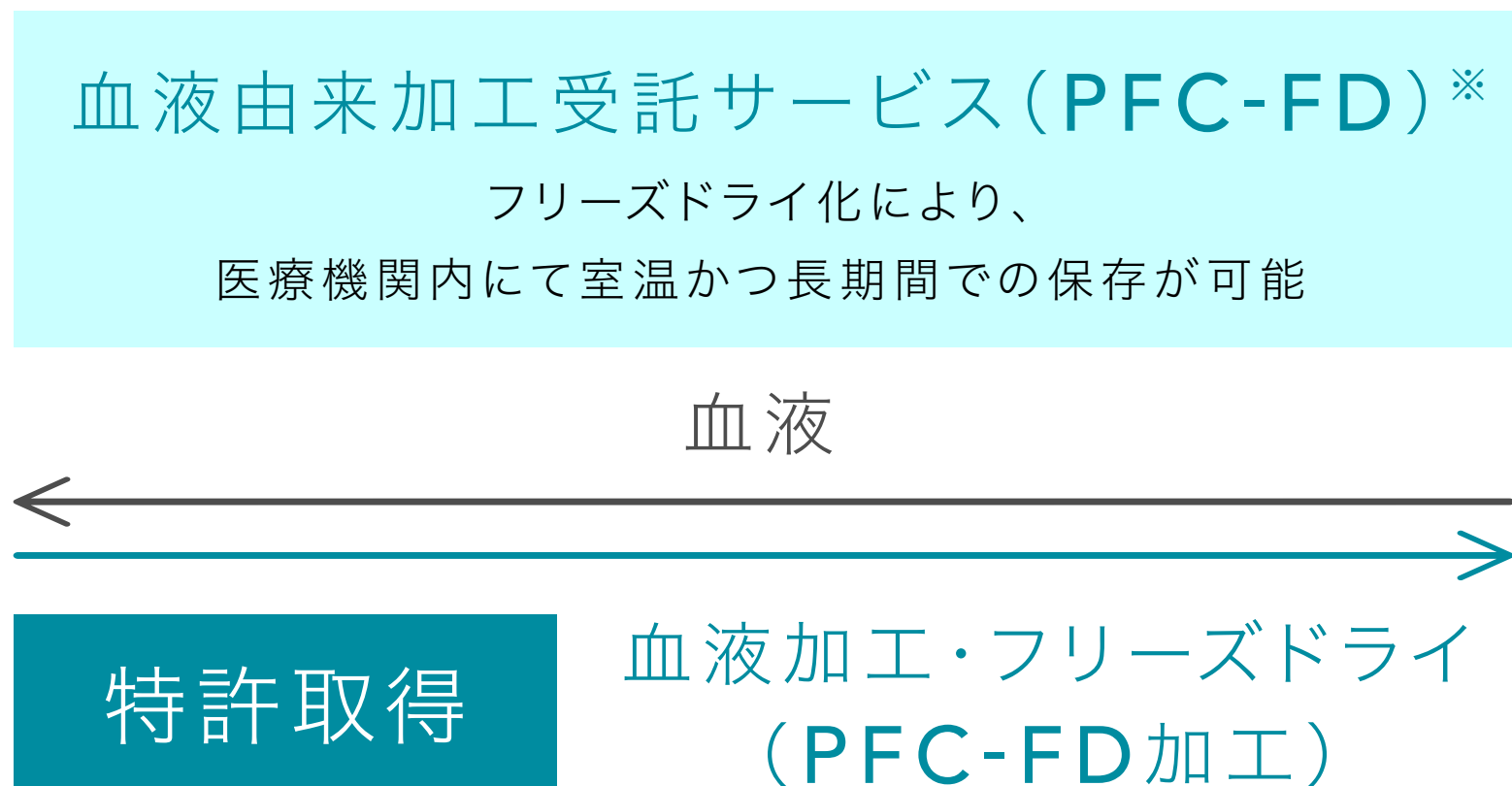
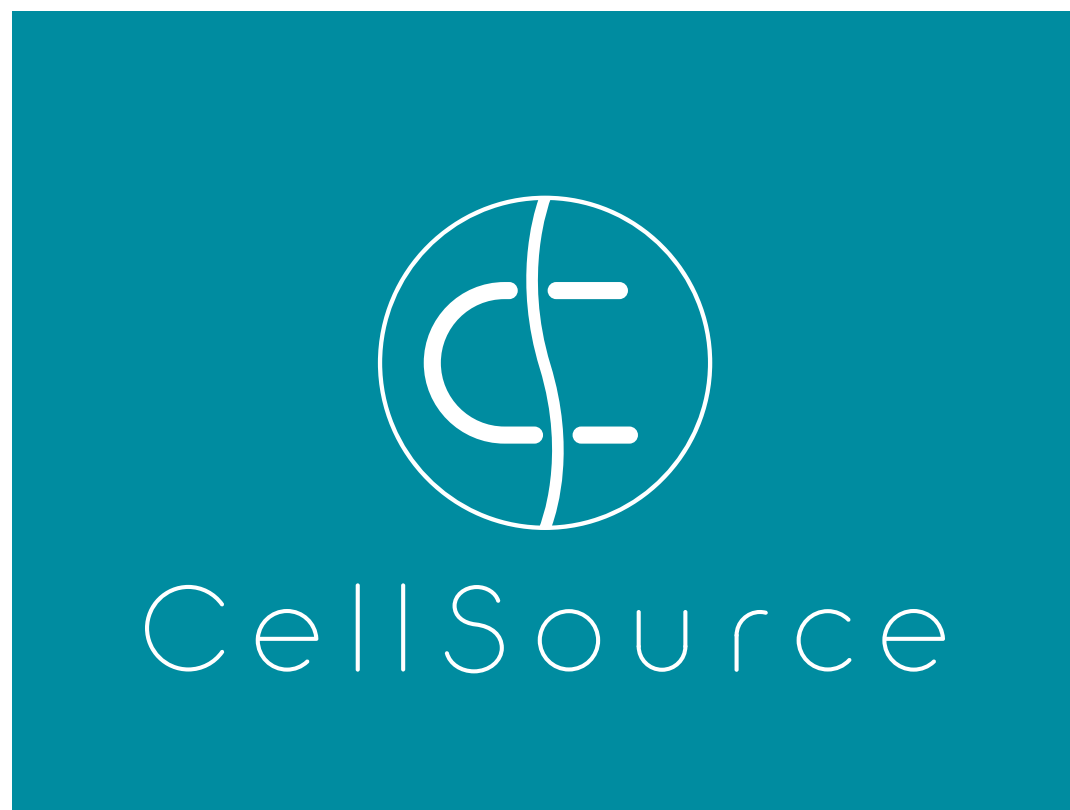
2

業績の状況

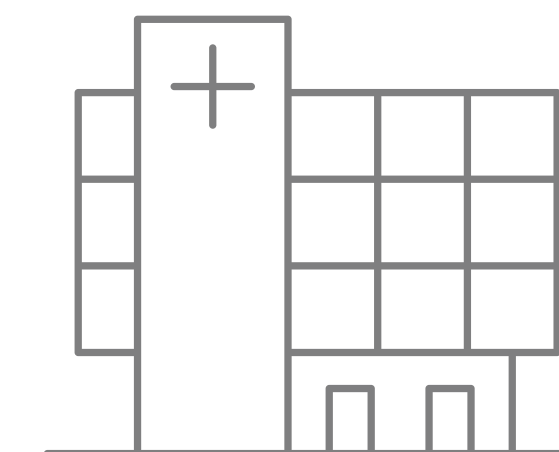
3

トピックス

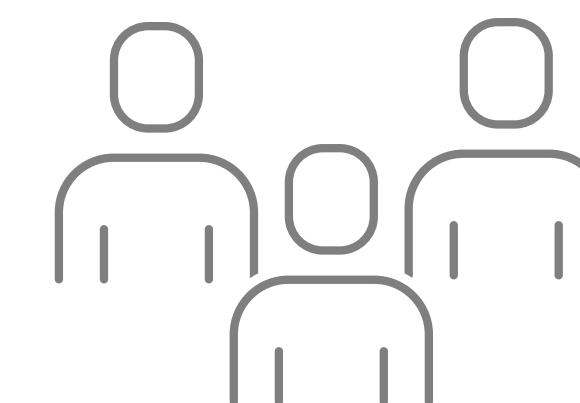
- 2019.11 住商ファーマインターナショナルと「脂肪由来幹細胞の分譲に関する契約」を締結
- 2020.03 脂肪由来幹細胞加工受託サービスが富山大学附属病院の乳がん先端治療・乳房再建センターにて採用
- 2020.03 不妊治療を目的としたPFC-FDの加工受託サービスを開始し、産科・婦人科向けに事業領域を拡大へ
- 2020.05 順天堂大学とPFC-FD・エクソソームを用いた不妊治療の手法について共同研究契約を締結
- 2020.11 がん研究会有明病院にて当社が日本国内で独占的に販売を行っている医療機器を採用
- 2020.11 順天堂大学と共同研究講座「スポーツ医学・再生医療講座」を開設
- 2020.12 沖縄県「先端医療産業技術事業化推進事業」の実施
- 2020.12 プロサッカーチーム・FC琉球の医療バックアップを行うメディカルパートナー契約を締結
- 2020.12 大阪大学と脂肪幹細胞由来エクソソーム等を用いた慢性閉塞性肺疾患治療に関する共同研究を開始



産科・婦人科



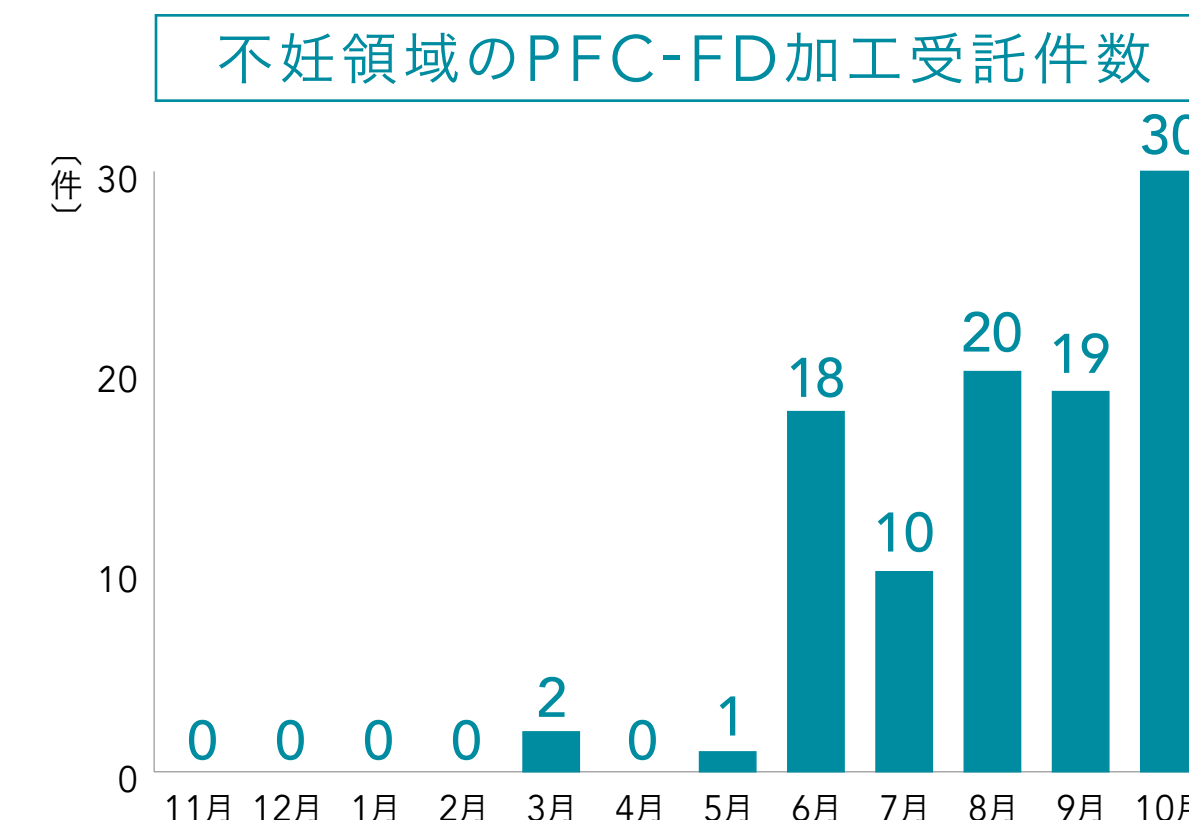
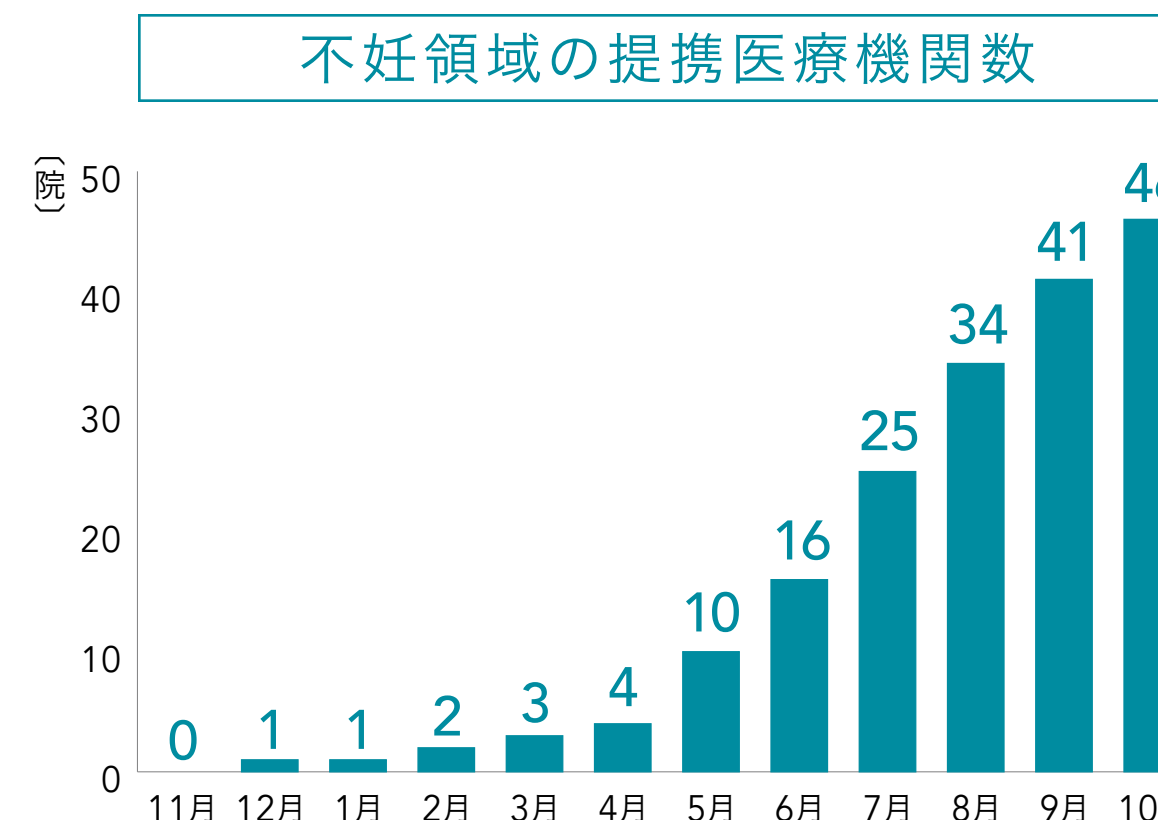
患者さま



治療

不妊治療に用いるための
 PFC-FDの加工受託サービスを開始

子宮内に投与することで受精卵の着床の可能性を高める不妊治療を目的としたPFC-FD作製の受託を、2020年10月期より開始しました。



※ PFC-FDはフリーズドライ加工によってパウダー状に調製されているため、医療機関さまの施設内において室温での長期保存が可能です。なお、PFC-FDの調製方法は当社にて特許を取得しています。



順天堂大学

PFC-FD・エクソソームを用いた不妊治療の 手法について共同研究契約を締結

不妊治療の手法のひとつとして、PRP(多血小板血漿)を加工したPFC-FDもしくはエクソソームを卵巣内に投与することで、卵胞発育誘導や卵子機能改善法の開発を目指します。

共同研究講座「スポーツ医学・再生医療講座」の開設

難治性のスポーツ外傷・障害及び要介護の主因となっている変形性関節症などの運動器疾患の新規治療(バイオセラピー)を開発することにより、健康寿命の延伸を目指し、共同研究講座「スポーツ医学・再生医療講座」を開設しました。

脂肪由来幹細胞加工受託サービスの採用

当社の「脂肪由来幹細胞加工受託サービス」が、順天堂大学医学部附属 順天堂医院にて採用されました。



慢性閉塞性肺疾患(COPD)治療に 関する共同研究

COPDは、喫煙や大気汚染が原因で発症する慢性炎症性肺疾患です。発症すると肺胞が少しずつ破壊され肺気腫になり、気管支が閉塞することで呼吸機能の低下等を引き起こします。全世界における死亡原因の第3位であり、日本国内においても約530万人以上の患者がいると推計され、国際的に対策が重要視されている疾患であるものの、根本的な治療法はまだ確立されていません。そこで大阪大学大学院医学系研究科とセルソースは、COPDの新たな治療方法の確立を目指し、臨床応用を視野に入れた共同研究を実施いたします。まずは脂肪由来幹細胞(ASC)から抽出した細胞分泌物「セクレトーム」を用いた治療による炎症等の症状の進行抑制効果を検討するとともに、ASCセクレトームの成分解析や主に肺をターゲットとした組織解析により治療の作用機序を解明し、臨床応用を目指します。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、市場環境、法的規制、品質・安全性の確保及び製造体制、特定の取引先、風評リスク、研究開発、広告宣伝戦略、システム障害等が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



CellSource